

令和7年度地域福祉懇談会ワークショップまとめ		【参加者】 小合コミ協役員、地区社協幹事（自治会長）、地域の茶の間・サロン団体、包括支援センターこすど、秋葉区社会福祉協議会
<小合地区> 開催日時:令和7年6月24日(火) 14時30分～ 会場:小合コミュニティセンター集会室		
地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	3 健康で豊かな地域づくり	高齢化により老君クラブの脱退やサロンの運営継続のための担い手不足が生じ、高齢者が集う場が無くなってきている ・助け合いのしくみの構築 ・「全住民アンケート」実施結果をもとにした地域づくりの検討
①愛さつ運動を継続しよう ・あいさつ運動は日々の声かけが重要で、年1回だと不足である ・日々の声かけが重要だ	①各種スポーツ大会の実施で地域のつながりをつくろう	
②花壇花苗・球根植え活動で「花のふるさと小合」をアピールしよう	②小合コミセンを拠点としたサークル活動の継続 ・コミセンサロンは、いろいろなイベントや送迎もあるのでたくさんの人から来てほしい ・なかなか人が集まらないので、コミセンサロンの開催をもっとPRする ・熱中症など関心のあることだと多く集まりやすく、お酒や弁当があると男性も集まりやすい ・若い人向けのサロンをしてほしい ・時々外食など外に出ることもよい ・ボランティアの負担を減らすよう業務を分散する ・担い手がいないため、ボランティア募集を回覧する ・学校と一緒に連携できるとよい	
③「屋号名」予備でも話が弾み地域の連携を深めよう	③健康づくり教室などに積極的に参加しよう	
2 安全で安心な地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
①自主防災訓練を実施しよう ・SNSを活用し連絡網の確認を行った ・避難場所の鍵を、近くで1日家にいる人に預けてはどうか ・広報で防災関係の役員をPRし、各役割の動きについての情報を共有できるとよい ・要支援者の方の情報共有の仕組みや方法を検討する ・自主防災訓練(10/26)に起震車がくる予定 ・水害についての訓練もしてはどうか ・できるだけ多くの人から参加してもらいたい	①コミ協広報誌発行、情報発信する ・自治・町内会役員や民生委員が声をかける ・なじらて訪問は、年1～2回では目的にかなわない ・1、15日のチラシ配布時や募金集めの手渡し時に、自治会に合った形でムリなく見守りする ・心配な世帯を見つけた場合の相談先は、コミ協に ・家族票は自治会長のみ持っており、とれる町内とできない地区がある(2年に1回更新) ・お互いのことを知らないで相談しないので、知り合うにはどうしたらよいか ・見守りも時期が重ならない方がよい	
②小学生の登下校時の見守りを実施する	②SNS(会員制交流サイト)を活用した情報発信	
③「公助・共助・自助」を基本にした助け合いのしくみをつくろう	③自治会・町内会とコミ協が地域課題実現に向け取り組もう	